

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	福井県民生活協同組合	代表者	松宮幹雄	法人・事業所の特徴 坂井市の北部ののどかな田園地域に立地しており、同敷地内に通所介護・認知症対応型通所介護・認知症対応型共同生活介護を併設しています。 県民せいきょうの理念「あなたらしさいつまでも」を念頭に置き、事業所独自として「えがお」という理念を掲げています。利用者だけでなく、家族、もちろん職員も笑顔でいられたらいいねという思いです。坂井きらめきでは、通いサービスが中心ですが、訪問を頻回に行う事で一人暮らしの方のサポートをしたり、宿泊を組み入れることで家族の介護負担を軽減できる様に心がけています。地域とのつながりを大切に、気軽に困りごとを相談しに来て頂けるような事業所を目指します。
事業所名	県民せいきょう 小規模多機能型ホーム 坂井きらめきハウス	管理者	長谷川典子	

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	1人	1人	人	1人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	畑作業をきらめきでの楽しみとして定着するように継続していきます。業務の効率化を図る為に、学び合いながら、ICT化を進めていきます。ご利用者の生活歴を理解し「～したい」の思いを読みとります。日々の関わりから聞き取った「～したい」を共有する為にスタッフ室に掲示し担当職員が中心となって計画、実施していきます。	プランターでの野菜作りを継続し、ご利用者の状態に応じ役割分担し作業を勧める事ができ、ご利用者の楽しみに繋がりました。生活歴を活かした「～したい」を実現できたものもありましたが、聞き取った「～したい」を掲示しても、実現に向けて計画をたてずに貼りだしたままになってしまっていたものもありました。	花や野菜を育てる取り組みはとても良いと思います。ただ担当される職員の方がその知識がないとなかなか難しいですね。TVの園芸番組をご利用者と一緒にご覧になっても参考になると思います。「～したい」はいくつかの候補を用意しておき、その中から選んでもらうと良いのではないのでしょうか。	ご利用者の楽しみとして定着してきている野菜作りを継続し、職員、ご利用者共に全員参加型の取り組みとなるよう役割分担を工夫しながら進めていきます。 毎月のイベント担当職員が聞き取り掲示されている「～したい」を参考にし計画を立て実施していきます。
B. 事業所のしつらえ・環境	SNS担当職員だけでなく、チーム全体でSNS発信する事への意識を持ち、ご家族や地域にきらめきでの活動を知って頂けるように取り組んでいきます。 電話や来客時など相手に好印象を与えられるように、継続してマナーを身につけていきます。	SNS配信については、チーム全体の取り組みには繋がらず、消極的なものとなってしまいました。 部署内で接遇マナーの検定を行い、電話対応について学びました。	接遇マナーの基本は、朝夕の挨拶と「ありがとうございます」の言葉が基本です。相手の目を見て明るく大きな声でできていれば良いと思います。マナー検定については会議で報告を受けていますが、その他の取り組みも教えていただきたいです。	SNS発信について、定期的な発信日を決め、日々の活動の様子を気軽に見て頂けるように取り組んでいきます。又、運営推進会議でも紹介していきます。 職員の質の向上に向けての取り組みも地域の皆さんに知って頂けるよう会議で報告します。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>引き続きサロンやサークルに出向き地域の方の健康維持に繋がるように努めます。 また、困り事を気軽に相談できるように関わりを大切にします。地域の行事参加だけでなく、日常生活の中に地域との繋がりを取り入れられるよう工夫し、支援していきます。</p>	<p>地域のサロンやサークルの開催時には、体操や脳トレを行い地域の方との交流を持つことが出来ました。公民館をお借りして卓球をしたり、カフェコーナーに出掛けるなど利用者と一緒に出掛け、地域との繋がりを大切にしました。</p>	<p>地域のイベントや社会奉仕活動にご協力いただきありがとうございます。カーブミラーの掃除もして下さっていましたよね。 些細な相談にも親身になって対応してもらえて助かっています。</p>	<p>職員が交代でサロンやサークルに参加できるように計画し、交流の幅を広げていきます。又、地域の方にもきらめきでのボランティア活動（紙芝居、コンサートなど）をお願いし、ご利用者と地域の関わりも大切にしていきます。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>「地域の資源」とは何かを具体例を挙げ、本人の生活に必要なものを取り入れて在宅生活を支えていきます。地域行事の情報を収集し、ご利用者と参加できるよう計画します。又、電池や電球などのリサイクル回収にも地域の一員として一緒に協力していきます。</p>	<p>地域の方と本人の生活について情報共有を行い、在宅生活が継続できるような支援に努めましたが、本人を支える「地域の資源」への理解は不十分でした。 地域の一員として、リサイクル回収への協力が出来ました。</p>	<p>天気のいい日などに利用者のグループで田んぼ道を散歩されるなどして、地域住民の方に施設の事をさり気なく知ってもらえるよう配慮して下さると助かります。</p>	<p>地域の方にきらめきを身近に感じて頂けるよう、ご利用者と一緒に地域に出掛ける機会を作っていきます。又、ご利用者、家族から地域との関わりについて情報収集を行い、地域の一員として在宅生活が送れるように支援していきます。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>職員が会議に参加できるように事前に調整を行います。 会議を通してご家族・地域との交流を深め、職員が自発的に地域に出向いていけるような環境作りに努めます。</p>	<p>職員体制の調整が厳しく、担当職員のみでの会議の出席となってしまいました。</p>	<p>職員が会議に参加するというのは、もともと難しい課題設定のような気がします。一つの案ですが、施設内見学で利用者の様子を見てもらう事を会議の内容に取り入れたらいかがでしょうか。</p>	<p>会議開催時に施設案内の機会を設けず。実際のご利用者の活動の様子を見学して頂き、頂いた意見を今後の取り組みに活かしていきます。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>定期的に災害時の備蓄の確認を行い、例年同様、日中、夜間両方を想定しての訓練を行います。</p>	<p>防火訓練は日中、夜間両方を想定し、地域の方にも参加していただき、連携を視野に入れて実施しました。 洪水・土砂災害を想定した図上訓練を実施し、ご利用者の避難手順などを話し合いました。</p>	<p>この地域で発生する恐れのあるのは、地震と長期間の停電（インフラ事故）だと思います。断水や停電時の対策が重要ですね。あと、近年は大雪による交通マヒがありました。職員全員への連絡体制ができていれば良いです。</p>	<p>防火訓練は日中、夜間両方を想定して実施します。災害発生時のご利用者、職員への安否確認手順や避難場所など、定期的に確認し訓練していきます。</p>